

今月のスマイルさん  
Everyone to be happy with a smile!



仲良しWこっちゃん  
の  
琥絆くん(右・4歳)  
煌恭くん(左・3歳)  
湖東保健センターでお会いしました

## 羊の毛刈り 夏に備えてスッキリ



池之脇町の忠連谷「ひつじの里」で、羊の毛刈りが行われました。獣害対策と里山整備のため、池之脇町自治会が平成21年に日野町にある滋賀県畜産技術振興センターから2頭の羊を借り受けて飼育を始め、以後、繁殖や寄贈などにより、現在では23頭にまで増えました。毎年この時期には、羊たちの暑さ対策と夏場の病気予防、衛生管理のために毛刈りを行っており、今年で5回目となります。電動バリカンやハサミを使い、9頭の分厚い羊毛を1頭あたり15分ほどで



刈られていきました。見学に来ていた市原幼稚園の田中孝之介君(5歳)は、さつぱりとした羊の様子を見て、「すつきりとして気持ちよさそう。」と話しました。

## 手作りのあたたかさに触れる へムスロイドの杜まつり2015



全国の手工芸作家が集まり、作家が集まり、展示や販売を行う「へムスロイドの杜まつり2015」が、ことうへムスロイド村で開催されました。

6人の手工芸作家が、5つの工房で創作活動を行うことうへムスロイド村。同村の手工芸作家らが組織するへムスロイドの杜まつり実行委員会が毎年開催し、24回目を迎えます。陶芸品やガラス工芸品、アクセサリーや木・革・布製品などのほか、イラスト入りのはがきなど、多種多様な136軒ものブースでにぎわいました。また、本市の姉妹都市であるスウェーデンレットビック市を紹介するコーナーや、近隣自治会による飲食バザーも出店されました。

アクセサリーを販売するブースでは、小さく切られた木と、釘やネジを使

って作る「ロボット手作り体験」が行われていました。毎年まつりに来ているという福田琉生君(愛東南小6年)は、「ものを作るのが好き。そんなに難しくなかった。」と話しました。ことうへムスロイド村でカフェ「BASE FOR REST」を営む、同実行委員長の上野智信さん(34歳)は「このまつりを通してものづくりの良さを伝えたい。」とまつりへの想いを話しました。



①集中してロボットを作る福田君 ②レットビック市の伝統工芸品なども販売 ③ブースでは出展者と来場者が交流 ④ペット連れの来場者もたくさん発見

## 親と子のよい歯のコンクール



口腔衛生に對する関心を高め、健康づくりに寄与することを目的とした「東近江市親と子のよい歯のコンクール」が湖東保健センターで開催されました。

は、太田裕美子さん(40歳)と準輔君(4歳)の親子。受賞について、裕美子さんは「記念になる賞がもらえてうれしい。子どもが歯磨きを嫌がるときもあきらめず、うまく声かけをしたり好きなキャラクターの歯ブラシを使ったりしています。」と話しました。

毎年実施するこのコンクールは、前年度に3歳6か月児歯科健康診査を受診してむし歯のなかった幼児とその保護者を対象に、歯や歯ぐきの健康状態を審査し表彰するものです。今年は8組の親子が参加しました。

なお、太田さん親子は滋賀県が開催する「第64回親子でいい歯コンクール」(7月12日開催)に、本市代表として出場されます。



①②井田歯科医師による診察 ③優勝した太田さん親子



## 外国人による日本語弁論大会 本市で開催



①出場者の皆さん ②外務大臣賞を受賞したカヒリグさん ③熱烈応援! ④出場者によるトークセッションで盛り上がる会場

「外国人による日本語弁論大会」が八日市文化芸術会館で開催されました。

この大会は1960年から毎年開催され、日本の社会や文化に日ごろから深く接している外国人が日本語でスピーチをされるものです。市制10周年を記念し今年には本市で開催されました。予選審査を通過した11か国12人が出場され、来場者

約600人の前で、自国と文化の違いや日本に来て感じた事など、流ちょうな日本語で1人当たり約6分間スピーチを行いました。外務大臣賞を受賞した専門学生のジャーナルジョイス(ライリピン)は、日本の歌に興味を持ち来日、その後和歌の意味や言葉も調べ、「万葉集の時代から四季の

自然の中で日本文化が築かれてきた」とし、そうした深く美しい日本人の心を広く伝えていきたいとスピーチされました。来場した大学生の山田悠貴さんは「自分よりも日本のことを知っている、驚きました。」と感想を話されました。

なお、大会の様子はNHK Eテレで7月12日(日)午後3時から放送予定です。